

板橋区観光振興ビジョン2035

《素案》

はじめに



区長挨拶が入ります。

令和8年 月

板橋区長 坂本 健

ひと、まち、みどりがつなぐ ”観光創造都市いたばし“

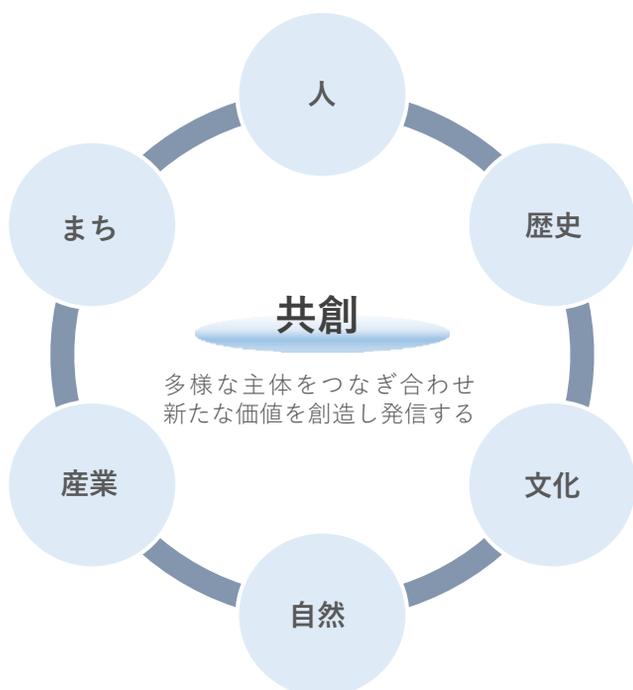
板橋区は、都市化が進んでいる東京23区にありながら、宿場町として栄えた街道文化の歴史、まちに息づく伝統文化、時代を越えて進化してきた産業、情緒あふれるまちなみ、古くから愛されてきた活気ある商店街など、「ひと」や「まち」をつなぐ文化が根付いています。

また、河川や公園をはじめとする憩いと潤いをもたらす「みどり」も多く残っていることから、世代を超えて多くの人々に親しまれています。

板橋区の観光は、これらの板橋ならではの地域資源を単体で発信するだけでなく、歴史・文化・自然を同時に楽しむことができる空間を創造する、また、まちづくりを活かして、多様な人々の交流とにぎわいの場を創出するなど、様々な主体の特徴を活かし、つなぎ合わせることで、新たな価値を創造し、発信していくことをめざすものです。

区民にとっては、訪れる人に思わず自慢したくなるようなまちとして、来訪者にとっては、訪れてみたくなるまちとして、“観光創造都市いたばし”の魅力を育んでいきます。

基本理念の実現に向けた主な視点



- 人** 区民、来訪者、観光に携わる人々による、にぎわいや温かみのある交流
- 歴史** 街道、宿場町などの歴史資源やその成り立ち、背景にあるストーリー
- 文化** 田遊び、里神楽などの伝統文化や、商店街、食といった生活文化
- 自然** 河川、公園などの豊かな自然環境や崖線など自然の地形
- 産業** 長い歴史の中で培われたものづくりなどの技術や先端研究
- まち** 絵本のまち、駅周辺のまちづくりに加え、まちの持つ魅力や面白さ

5つの戦略

基本理念の実現に向けて5つの戦略を設定します。

戦略1

探し、しりたくなる
～時代を越えて進化してきた、
先端研究や歴史・伝統文化の継承～

区の産業や科学技術の発展の歴史を発信し、学び・体験の場を創造します。

また、歴史に込められた物語や背景を掘り起こすことで、来訪者の知的好奇心をかき立てるとともに、伝統文化や文化財を保全し、次世代へ継承します。

戦略2

歩き、いきたくなる
～緑とにぎわいが共存する、
ウォーカブルな空間の創造～

緑豊かな公園や特色ある地形・景観を活かし、緑とにぎわいが共存するウォーカブルな空間を創造します。

また、回遊性を促進するイベントなどの実施により、にぎわいづくりを創出します。

戦略3

集い、すごしたくなる
～新たに生まれるまちを拠点とした、
にぎわいと交流の創出～

まちづくりにより整備された駅前空間や新たに整備する水辺空間を活かして、にぎわいと交流を創出します。

また、ユニバーサルデザインの視点をを用いて、バリアフリー対応の充実や二次交通の利用促進により利便性の向上を図ります。

戦略4

伝え、もてなしたくなる
～人やまちのもつ面白さや魅力の発信～

観光大使や観光キャラクターによるPRや、来訪者のニーズに応える観光人材を育成し、魅力を発信します。

また、多様な媒体や発信方法を駆使することで、あらゆる世代に地域資源の理解と再発見を促し、板橋の人やまちのもつ面白さや魅力を未来へと伝えていきます。

戦略5

創り、そだてたくなる
～多様な人々とのつながりと
新たな価値の創造～

まち全体が一体となって「絵本のまち板橋」の取組を推進することで、「絵本のまち」の文化を育てていくとともに、区内外にその魅力を発信していきます。

また、多様な人との交流や様々な体験ができる環境を整備し、新たな価値を創出していきます。

戦略1

探し、しりたくなる

～時代を越えて進化してきた、先端研究や歴史・伝統文化の継承～



板橋区史跡公園（仮称）

板橋区加賀一丁目に所在する「史跡陸軍板橋火薬製造所跡」を整備し、近代化・産業遺産を保存活用した都内初の史跡公園として、令和11（2029）年度のグランドオープンをめざしています。

2035年めざす姿

時代を越えて進化してきた板橋固有の産業、歴史、伝統文化などの地域資源が掘り起こされ、「探してみたい」「もっと知りたい」と思えるストーリーや体験プログラムが整っています。

また、その魅力が来訪者に伝わり、未来へと受け継がれています。

施策の方向性

区の産業の発展や先進的な科学技術研究の発信と、それらを学び、体験することができる創造の場をつくります。

また、地域資源の持つ歴史的なストーリーや背景を掘り起こすことで、来訪者の好奇心を引き出すとともに、貴重な文化財・伝統文化を保全し、次世代に継承する取組を推進します。

過去と未来が交差する新たな価値の創造

都内初となる近代化・産業遺産を保存活用した「板橋区史跡公園（仮称）」を、令和11年度のグランドオープンめざし整備しています。現存する戦前の貴重な遺構や建造物を活用した展示や教育普及活動などを通じて、この場所ならではの歴史の重層性や価値などを伝えていきます。

また、史跡地内の理化学研究所板橋分所跡地に「産業ミュージアム（仮称）」の設置を予定しています。当地が区のものづくりの原点であり、産業の発展や新たな産業創出に深く関わってきた大変貴重な場所と捉え、当地の歴史に紐づく区産業の発展や研究の軌跡の発信と体験を通じて、板橋の産業ブランドを向上させるとともに、「探求と研究のバトンを未来へつなぐ拠点」となることをめざします。



陸軍板橋火薬製造所跡

歴史のストーリーを探る観光の推進

江戸時代、加賀藩前田家の江戸下屋敷が板橋宿に隣接していたことに由来する金沢市との交流や、「高島平」の地名が幕末の砲術家「高島秋帆」に由来することなど、区内には背景を知りたくなる多くの歴史・文化資源があります。

これらの文化資源を徒歩で巡る観光ルートとして整備し、観光案内板などにQRコードを付した詳細解説や多言語化により、魅力を広く発信して認知度の向上を図ります。

また、各観光資源が持つ歴史的背景やエピソードをストーリーとして仕立て、資源の価値と魅力を効果的に伝えるとともに、ARで当時の雰囲気再現するスポットを増やすことで、来訪者に対し記憶に残る体験を提供します。



高島秋帆が徳丸原で西洋式砲術調練を行っている様子「阿蘭陀直伝高島流砲術巻」より

伝統文化や文化財の次世代への継承

板橋区には、千年以上続く五穀豊穰などを祈願する「田遊び」（国指定重要無形民俗文化財）をはじめ、神社の神楽殿で舞われる里神楽、村内安全を祈る獅子舞などの貴重な無形民俗文化財が伝えられています。

これらの伝統文化を保存・継承していくために、学校や地域団体と連携して板橋区の歴史や伝統文化を体験しながら学べるワークショップの実施や、旧粕谷家住宅などの歴史的建造物を活用した芸能の公開など、幅広い世代に向けた魅力あるプログラムを展開していきます。



徳丸北野神社田遊び

戦略2

歩き、いきたくなる

～緑とにぎわいが共存する、ウォーカブルな空間の創造～



板橋交通公園

50年以上にわたって利用されてきた板橋交通公園が持つ歴史や資源を未来へとつなぐため、「パークステーション～ひと・まち・みどりをつなぐ地域の拠点～」をコンセプトに、モビリティを介して誰もが気軽に集い、交流できる地域の「ステーション」となります。

2035年めざす姿

豊かな緑を活かした交流拠点が整備され、緑とにぎわいが共存する魅力的な空間となっています。

また、板橋ならではの地域資源の魅力が区内外に広がり、区民や来訪者が歩き、行ってみたいくなる環境が整っています。

施策の方向性

区内に約300か所ある公園などを活かし、誰もが多様な楽しみ方ができる緑とにぎわいが共存する空間の創出に取り組みます。

また、板橋の大きな特徴となっている地形や景観の魅力を活かしたウォーカブルなイベントの実施や、商店街などまちの持つ魅力が楽しめる回遊性のあるにぎわいを創出します。

“交通・交流・みどり”が一体となった交通公園によるにぎわいの創出

板橋交通公園は、令和9年度から新たな交通公園として生まれ変わります。

交通公園としての機能を継承しつつ、時代の変化に対応した小型モビリティ体験や、ミニトレインで園内の複数拠点を結ぶ「まちあい」の設置など、様々な体験・学びの機会を提供します。

また、公園と一体化したカフェや、地域の多様なアイデアやイベントに対応できる多目的広場を設置し、誰もが自由に楽しめる交流空間を整備するとともに、コミュニティファームを整備し、区民参加による農のふれあい体験を実施します。

交通・交流・みどりが一体となった、誰もが多様な楽しみ方ができるにぎわい空間を、地域とともに創り上げていきます。



板橋交通公園

崖線や桜並木など板橋ならではの地形や景観の散策の促進

板橋の景観の大きな特徴となっている「崖線」やスリバチ状の地形、開花の時期には中板橋付近から加賀付近まで桜が咲き誇る「石神井川の桜並木」、地名の名前の由来となった「板橋」、国の史跡に指定されている「志村一里塚」など、四季折々の美しさを備えた景観が数多くあります。

これらの景観について、公園、街並み、夜景などのテーマを設定した景観フォトコンテストの開催やカメラ愛好家向けの撮影スポットを巡るフォトウォークイベント、マニアックなスポットを巡るデジタルスタンプラリーの実施など回遊性を促進していきます。



石神井川の桜並木

商店街・食がつなぐ「まちなか回遊」の推進

板橋区には、情緒あふれる商店街や、食のブランド「板橋のいっぴん」、地域の交流拠点として親しまれる銭湯など、地域に根差した魅力が数多くあります。これらの魅力を区内の大学や企業と連携したプロモーションやガイドブック、SNSなど多様な媒体を活用した発信を行うとともに、店主の人柄や商品への想いを紹介することで、「行ってみたい」と思わせる仕組みを作ります。

また、商店街と食を巡る周遊特典などの企画を実施することで、回遊性を促進します。



ハッピーロード大山商店街

戦略3

集い、すごしたくなる

～新たに生まれるまちを拠点とした、にぎわいと交流の創出～



板橋区立中央図書館

人工芝の広場を設け、家族連れの図書館利用のきっかけを生み出すなど、公園と一体となった図書館づくりやポローニャとの交流から始まった約3万冊の世界中の絵本と触れ合える「いたばしポローニャ絵本館」の取組が評価され、令和5年に日本図書館協会建築賞を受賞しています。

2035年めざす姿

まちづくりにより整備された駅前空間とそこからつながる公園・商店街が一体となり、あらゆる世代の人が集い・交流し、にぎわいのあるまちが実現しています。

また、誰もが安心して快適に滞在できる環境が整備され、心地よく、過ごしたくなる空間が各所に広がっています。

施策の方向性

まちづくりや水辺空間の広大なオープンスペースを活用し、にぎわいと交流のある空間を創出します。

また、誰もが快適に過ごせるよう、ユニバーサルデザインを踏まえ、二次交通やバリアフリー対応の整備など滞在時の利便性向上を推進します。

まちづくりを活かしたにぎわいと つながりのある空間の創造

人中心の駅前空間と2つの再開発が織りなす新たな板橋の玄関口「板橋駅西口」、商店街と連携してにぎわいやコミュニティを生み出す「大山駅周辺」、緑豊かな駅前空間が出迎える新たな公園都市「上板橋駅南口」、持続可能な都市へと転換する次世代のまち「高島平駅周辺」など新たなまちづくりを交流拠点として位置づけます。

情報発信拠点として様々な魅力を発信していくとともに、あらゆる世代の人々が気軽に交流・参加・体験できる新たなエリアを創造するなど、地域への愛着やつながりを育む場として、まちの魅力を高めていきます。



上板橋駅南口駅前広場の将来イメージ

かわまちづくりによるにぎわいの創出

荒川の河川空間と豊富なみどりを活かした「かわまちづくり」では、にぎわい創出につながる水辺空間を形成します。

区のブランドとなる充実したコンテンツの創出やスポーツ利用者をはじめとした利用者の利便性を向上させるとともに、みどりに恵まれた河川環境を活かすなど、荒川河川敷の魅力及び機能向上をめざします。

新たなスポーツ機能の拡充や屋外体験レクリエーションによるにぎわいの核となる拠点などの整備、広大なオープンスペースを活用した大小様々なイベント、来訪者の憩いの場の提供など活気とにぎわいに満ちた空間を創出します。



かわまちづくりの将来イメージ

誰もが快適で居心地良く過ごせる滞在 環境づくり

駅・商店街・公園・文化施設を結ぶ、コミュニティバス「りんりんGO」やシェアモビリティなどの利用を促進することで回遊性を高めます。

また、エレベーター、スロープなどのバリアフリーの対応状況やWi-Fiの設置状況がわかるデジタルマップを活用するとともに、来訪者の利便性向上を図ります。

さらに、「赤ちゃんの駅」の設置を進め、乳幼児を持つ子育て世帯が安心して訪れることのできる心地良い環境づくりを推進していきます。

これらについては、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、整備していきます。



赤ちゃんの駅とコミュニティバス「りんりんGO」

戦略4

伝え、もてなしたくなる

～人やまちのもつ面白さや魅力の発信～



いたばし観光キャラクター「りんりんちゃん」

区の花“ニリンソウ”の妖精がモチーフの観光キャラクターりんりんちゃんは、板橋区民まつりをはじめ、様々なイベントに登場し、区の魅力を発信しています。

2035年めざす姿

板橋でしか体験できない面白さや「もてなし」が多くの人に伝わり、また訪れてみたくなる魅力あるまちとなっています。

施策の方向性

観光大使や観光キャラクターによる積極的なプロモーション活動や、興味を惹きつける情報発信を行うことで、あらゆる世代に板橋の人と街の魅力を伝えていきます。

また、来訪者のニーズに応えることのできる観光人材の育成に取り組みます。

観光大使やりりんちゃんによる 魅力発信と観光人材の育成

板橋にゆかりのある観光大使や観光キャラクター「りりんちゃん」の認知度を活かし、イベント参加時の様子をSNSで発信するなど、板橋の魅力を伝えていきます。

動画や写真を効果的に用いることで、視聴者の共感を呼ぶとともに、区内外へ幅広く板橋の魅力を伝え、板橋の観光に対する関心を高めます。

また、来訪者のニーズに応えるため、板橋の歴史・自然・接遇を学ぶ研修を体系化し、観光ボランティア「もてなしたい」を継続的に育成していくことにより、「おもてなし」の精神で満足度の高い観光ガイドを提供します。

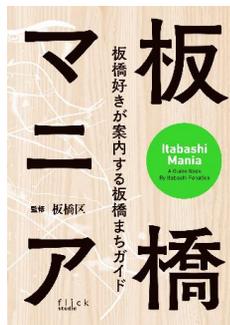


観光ボランティア「もてなしたい」

「板橋マニア2(仮称)」と「観光検定(仮称)」によるまちの面白さの発信

商店街の人情物語、地形、暗渠、境界、団地、ものづくりの裏側など、“ディープでマニアックな面白さ”を編集した「板橋マニア」をバージョンアップした続編、「板橋マニア2(仮称)」を制作します。知る人ぞ知る魅力を深掘りして紹介し、まちの中にある面白さを発信します。

また、学芸員監修のもと、難易度ごとに初級から上級までのコースを設けた「板橋観光検定(仮称)」を新たに実施します。合格者には認定証と記念品の贈呈を行うことなどにより、あらゆる世代に地域資源の理解と再発見を促します。



板橋マニア

板橋を代表する「花火大会」など四季折々の多彩なイベントによる魅力発信

都内最大の尺五寸玉を打ち上げる「いたばし花火大会」、みこしや踊り、物産展など地域の活気と文化を楽しめる「板橋区民まつり」、地元の農産物を堪能できる「板橋農業まつり」、多くのランナーに親しまれている「板橋Cityマラソン」の伝統ある4大イベントに加え、区内有数の桜の名所で幻想的な夜桜を演出する「石神井川の桜のライトアップ」などを展開します。

これまで培ってきた伝統を継承しながら、デジタル技術の活用など時代に即した新たな要素を取り入れ、磨き上げることで、区民や来訪者に憩いと潤いを与えると同時に、板橋でしか体験することのできない魅力を未来へと伝えていきます。



いたばし花火大会

戦略5

創り、そだてたくなる

～多様な人々とのつながりと新たな価値の創造～



絵本のまちひろば

絵本をつくり、絵本で活動し、絵本を楽しむ人々が集い、交流やにぎわいが生まれる絵本イベントです。大学、企業、クリエイターと連携し、絵本や関連グッズの販売・ワークショップ・ステージプログラムなど、盛りだくさんの内容で、絵本の魅力を届けています。

2035年めざす姿

「絵本のまち」が日常に浸透し、区内外で広く知られるブランドとして認識され、文化的な魅力あるまちとなっています。

また、様々な主体とのつながりが育まれ、創造的な活動ができる環境が整っています。

施策の方向性

企業や大学、クリエイターなど、多様な主体が一体となって取組を推進し、「絵本のまち」の文化を育てていきます。

また、子どもから大人まで多様な人と出会い、様々な体験ができる創造の場を形成し、未来を担う人材の育成に取り組みます。

「絵本のまち板橋」の取組推進

板橋区では、友好都市であるイタリア・ボローニャ市との交流や、区内に多く集まる印刷産業の強みを活かし、「絵本のまち板橋」ブランドを発信しています。

「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」、「いたばし国際絵本翻訳大賞」、「絵本のまちひろば」、オリジナル絵本の制作などクリエイター・企業・大学などが一体となった取組を推進していくことで、「絵本のまち」の文化を創り育てていきます。

こうした取組を通じて、まち全体が絵本を身近に感じられる空間を創出することで、ブランド力のさらなる向上を図り、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟をめざします。



国際絵本原画展

「えんのもり」を活用した創造拠点の形成

板橋駅西口周辺に新たに誕生する「えんのもり」は、人々が出会う宿場町としての歴史、縁がつながり新しいものに出会える学びの場、杜のような、緑豊かな空間が一体となった場所です。

公益エリアの展示スペースでは、区の観光資源や情報を提供するなど、新しい板橋区の玄関口となるこの地を観光案内拠点として活用します。

また、交流ラウンジでは、地域、企業、大学と連携したイベントや講座、ワークショップなど、様々な出会いや発見があふれる創造的なコミュニティの形成をめざします。



えんのもり

創造の場の形成と未来を担う人材の育成

東板橋公園内にあるこども動物園では、動物とのふれあい体験ができるだけでなく、小学3年生から中学3年生までの子どもたちが動物の世話や接客などを行う「こども動物クラブ」を実施しています。学びや体験を通じて、子どもの感性や好奇心をかき立てる創造の場を形成し、地域とともに未来を担う人材の育成に取り組みます。

また、板橋には「農」を身近に体験できる資源があります。成増農業体験学校では、この貴重な資源を次世代につなぐため、農作業の基礎的な知識や栽培技術を習得するとともに、都市農業に関する理解を深めることで農業技術を継承し、区内農業者を支援できる人材の育成に取り組みます。



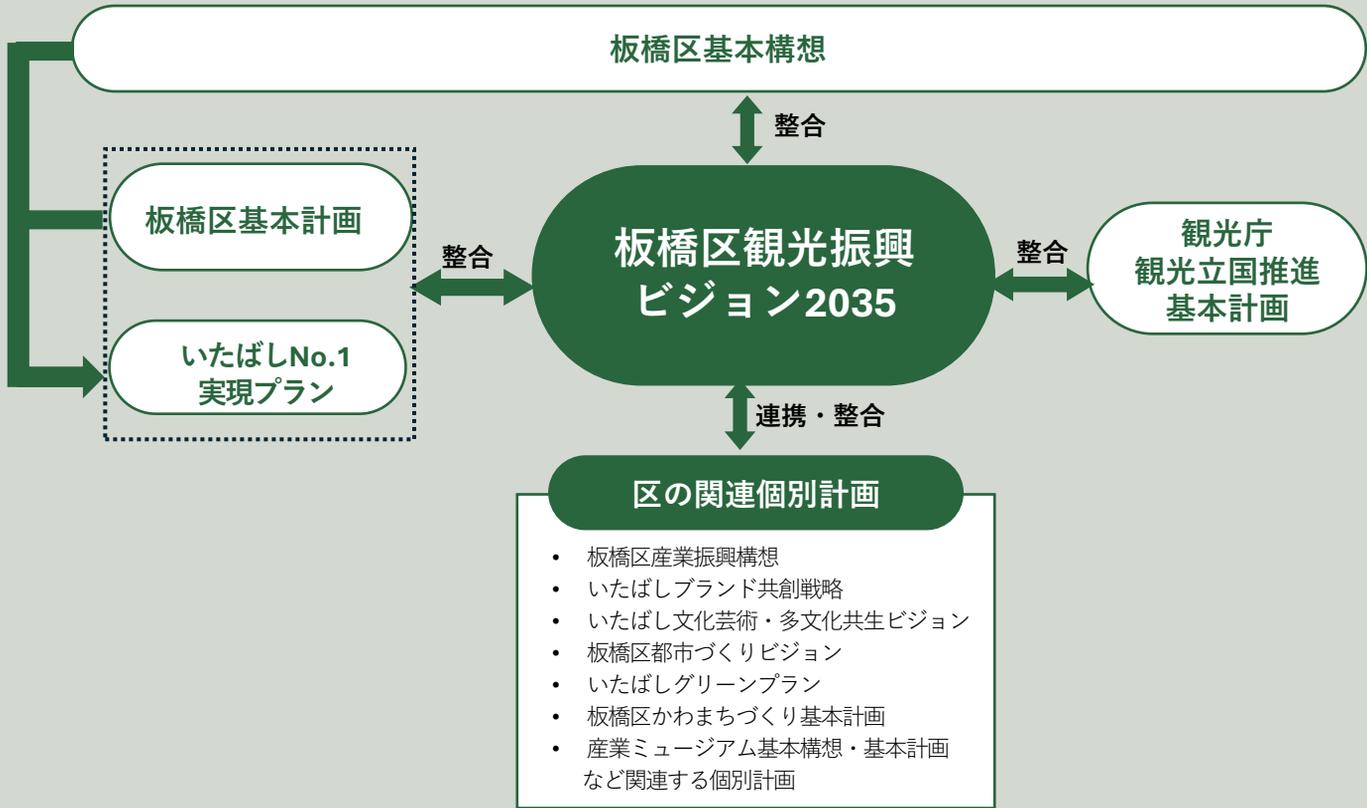
こども動物クラブ



こども動物園

ビジョンの位置づけ、計画期間

ビジョンの位置づけ

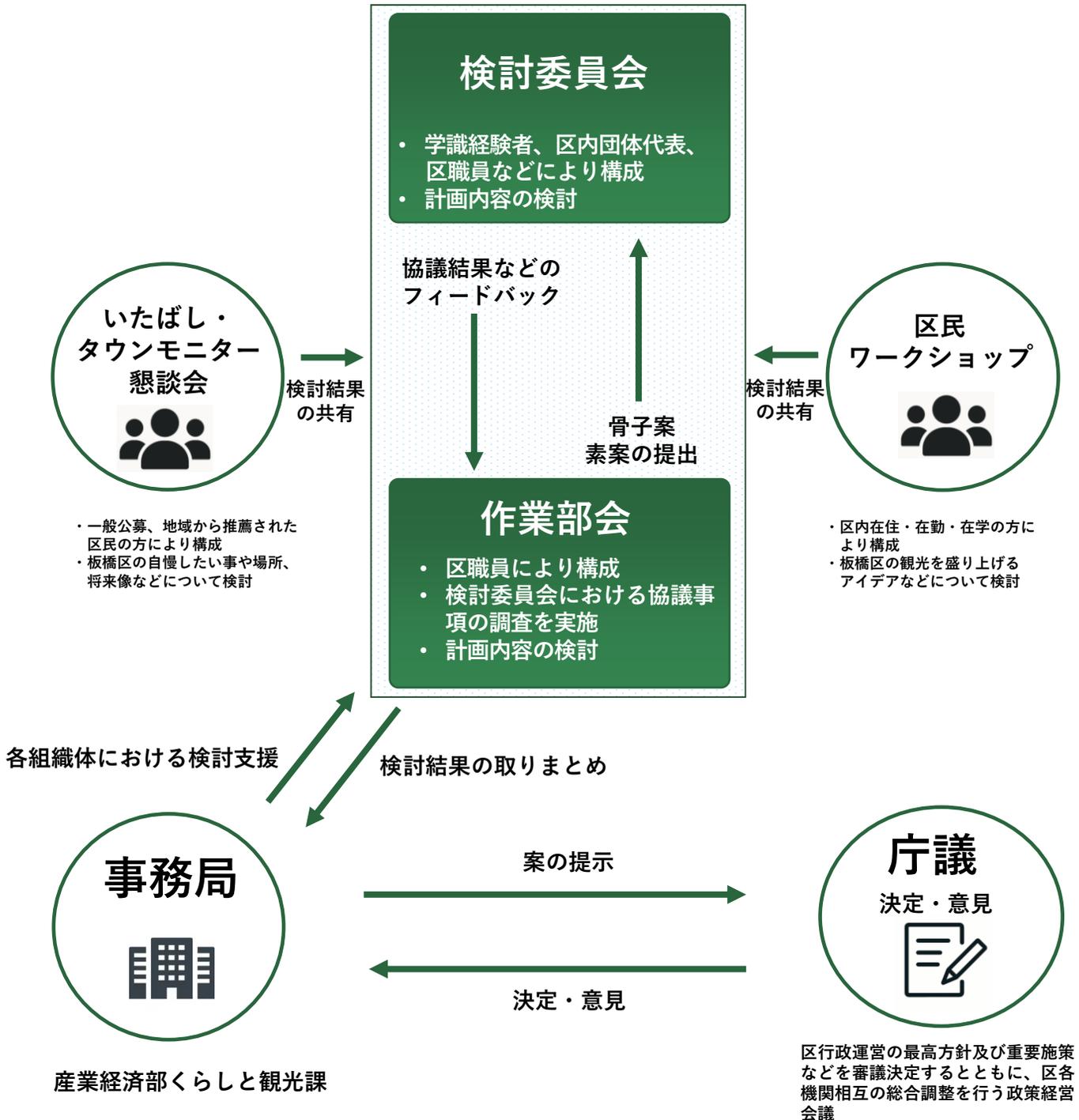


計画期間



策定体制図

観光振興による魅力あるまちづくりを推進し、板橋区のめざす将来像や取組の方向性を示す観光ビジョンの策定に関わる検討を実施



板橋区観光振興ビジョン2035策定検討委員会設置要綱

(令和6年9月25日区長決定)

(令和7年4月1日 一部改正)

(設置目的)

第1条 観光の振興による魅力あるまちづくりを推進し、板橋区のめざす観光の将来像や取り組みの方向性を示す観光ビジョンの策定を目的として、板橋区観光振興ビジョン2035策定検討委員会（以下「検討委員会」という）を設置する。

(組織)

第2条 検討委員会は、学識経験者、区内団体代表、区職員、その他区長が適当と認めた者のうちから、区長が委嘱または任命する委員16人以内をもって組織する。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出し、委員長は、検討委員会を主宰する。

3 第1項に掲げる者のほか、委員長は、必要と認める者を会議に出席させることができる。

(作業部会)

第3条 検討委員会における協議事項を準備調査するため、作業部会を置く。

2 作業部会は部会長、副部会長及び部会員をもって構成し、構成員は別表のとおりとする。

3 部会長は産業経済部長、副部会長はくらしと観光課長とし、部会長は、作業部会を主宰する。

(所掌事項)

第4条 検討委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

(1) 板橋区観光振興ビジョン2035に関する事項

(2) その他委員長が必要と認める事項

(検討委員会の運営)

第5条 検討委員会は、委員長の招集により開催する。

2 委員長に事故があるとき又は欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

3 検討委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、開催することができない。

4 委員長は検討委員会が必要であると認める事項について、検討委員会の委員以外の者を会議に出席させ、報告を求め、又は意見を聴くことができる。

5 委員長が、急を要すると認めたとき又は検討委員会の会議を開くことができないと認めたときは、各委員との協議をもって、会議に代えることができる。

(作業部会の運営)

第6条 前条の規定は、作業部会の運営について準用する。この場合において、これらの規定中「検討委員会」とあるのは「作業部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(庶務)

第7条 検討委員会及び作業部会の庶務は、産業経済部くらしと観光課が行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

1 この要綱は、令和6年9月25日から施行する。

2 この要綱は、板橋区観光振興ビジョン2035の策定日にその効力を失う。

付 則

1 この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

検討委員会委員名簿・作業部会部会委員名簿

【検討委員会委員名簿】

役職	氏名	所属など
委員長	安島 博幸	立教大学名誉教授
副委員長	中野 達哉	駒澤大学文学部教授
委員	武部 浩子	駐日欧州連合代表部広報部 文化担当(2023年9月まで) ブリティッシュ・カウンシル アーツ・プロジェクト・マネージャー (2023年9月～)
	松下 耕	作曲家、指揮者、東京国際合唱機構代表理事
	宮口 直人	立命館大学大学院経営管理研究科教授
	渡辺 治	株式会社渡辺治建築都市設計事務所所長
	高田 美種	板橋区町会連合会副会長
	島田 理香	一般社団法人板橋産業連合会理事
	高橋 圭子	板橋区商店街連合会副会長
	別府 明雄	板橋区観光協会会長
	藤咲 億桜	板橋区文化団体連合会広報部長
	伊東 海	東京商工会議所板橋支部事務局長
	篠田 聡	政策経営部長
	平岩 俊二	区民文化部長
	家田 彩子	産業経済部長

【作業部会部会委員名簿】

役職	所属
部会長	産業経済部長
副部会長	産業経済部 くらしと観光課長
部会員	政策経営部 政策企画課長
部会員	政策経営部 広聴広報課長
部会員	政策経営部 ブランド戦略担当課長
部会員	総務部 男女社会参画課長
部会員	区民文化部 地域振興課長
部会員	区民文化部 文化・国際交流課長
部会員	区民文化部 スポーツ振興課長
部会員	産業経済部 産業振興課長
部会員	産業経済部 赤塚支所長
部会員	健康生きがい部 長寿社会推進課長
部会員	福祉部 障がい政策課長
部会員	子ども家庭部 子ども政策課長
部会員	資源環境部 環境政策課長
部会員	都市整備部 都市計画課長
部会員	まちづくり推進室 まちづくり調整課長
部会員	土木部 みどりと公園課長
部会員	土木部 かわまちづくり計画担当課長
部会員	教育委員会事務局 生涯学習課長
部会員	教育委員会事務局 中央図書館長
部会員	教育委員会事務局 史跡公園担当課長 ※第3回作業部会から

■いたばし・タウンモニター・懇談会

開催日時	令和6年11月26日（火） 15時～16時15分
議論のテーマ	<p>テーマ：板橋区の観光振興について 2チームに分かれて下記テーマについて議論を実施。</p> <p>①板橋区の自慢したいことや自慢したい場所 ②2035年(10年後)に板橋区観光がどうなってほしいか</p> 

■板橋区観光コンテンツ掘り起こしワークショップ

開催日時	令和6年9月18日（火） 10時～12時
議論のテーマ	<p>テーマ：板橋区の観光コンテンツの更なる活用について 内容：下記5つのコンテンツをチームに分けて、魅力の掘り起こし方を現地調査のうえ発表</p> <p>①国史跡「旧陸軍板橋火薬製造所」、②志村一里塚、③高島平団地とけやき並木、荒川土手 ④板橋ポローニャ絵本館、⑤赤塚城跡</p> 

■区民ワークショップ

開催日時	令和7年10月25日（土） 10時～12時
議論のテーマ	<p>テーマ：みんなで進める板橋区観光振興ビジョン ～板橋区観光を盛り上げていくアイデアを考えよう！ 2チームに分かれて下記テーマについて議論を実施。</p> <p>①これからの板橋区の観光振興に向けて強化すべき取組や重要な取組、区の観光施策に求めること ②これからの板橋区観光を盛り上げていくために、区民として応援できること、かかわれること ③意見交換を踏まえた、これからの板橋区観光への期待</p> 

策定過程

	開催日	会議名称	主な議題
令和6年	8月6日	庁議	・策定方針について
	8月28日	区民環境委員会	・策定方針について
	9月18日	板橋区観光コンテンツ掘り起こしワークショップ	・板橋区の観光コンテンツの更なる活用について
	10月30日	第1回作業部会	・策定方針について ・各種調査結果の報告について ・ビジョン2025の施策評価について ・基本理念と目標について
	11月26日	いたばし・タウンモニター・懇談会	・板橋区の観光振興について
	12月12日	第1回検討委員会	・策定方針について ・ビジョン2025の施策評価について ・策定に向けたテーマと課題について
令和7年	1月15日	第2回作業部会	・骨子案について
	2月18日	第2回検討委員会	・骨子案について
	3月26日	庁議	・骨子案について
	4月16日	区民環境委員会	・骨子案について
	6月9日	第3回検討委員会	・素案について
	9月5日～9月12日	第3回作業部会	・素案について ・資料編について
	9月29日	第4回検討委員会	・素案について ・資料編について
	10月25日	区民ワークショップ	・板橋区の観光を盛り上げるアイデアについて
令和8年	1月20日	庁議	・素案について ・資料編について
	2月16日	区民環境委員会	・素案について ・資料編について
	2月	第4回作業部会	・最終案について ・資料編について
	3月	第5回検討委員会	・最終案について ・資料編について
	3月	庁議	・最終案について ・資料編について
	4月	区民環境委員会	・最終案について ・資料編について



板橋区観光振興ビジョン2035

編集 板橋区産業経済部くらしと観光課

〒173-0004 板橋区板橋二丁目65番6号情報処理センター6階

電話 03-3579-2251 FAX 03-3579-7616

kb-kankou@city.itabashi.tokyo.jp

令和 年 月 発行

刊行物番号